



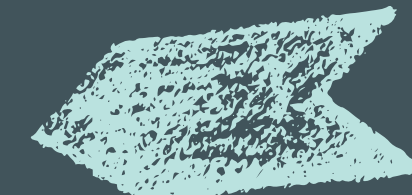
勝手に綺麗に見やすいデータづくり

Power BI

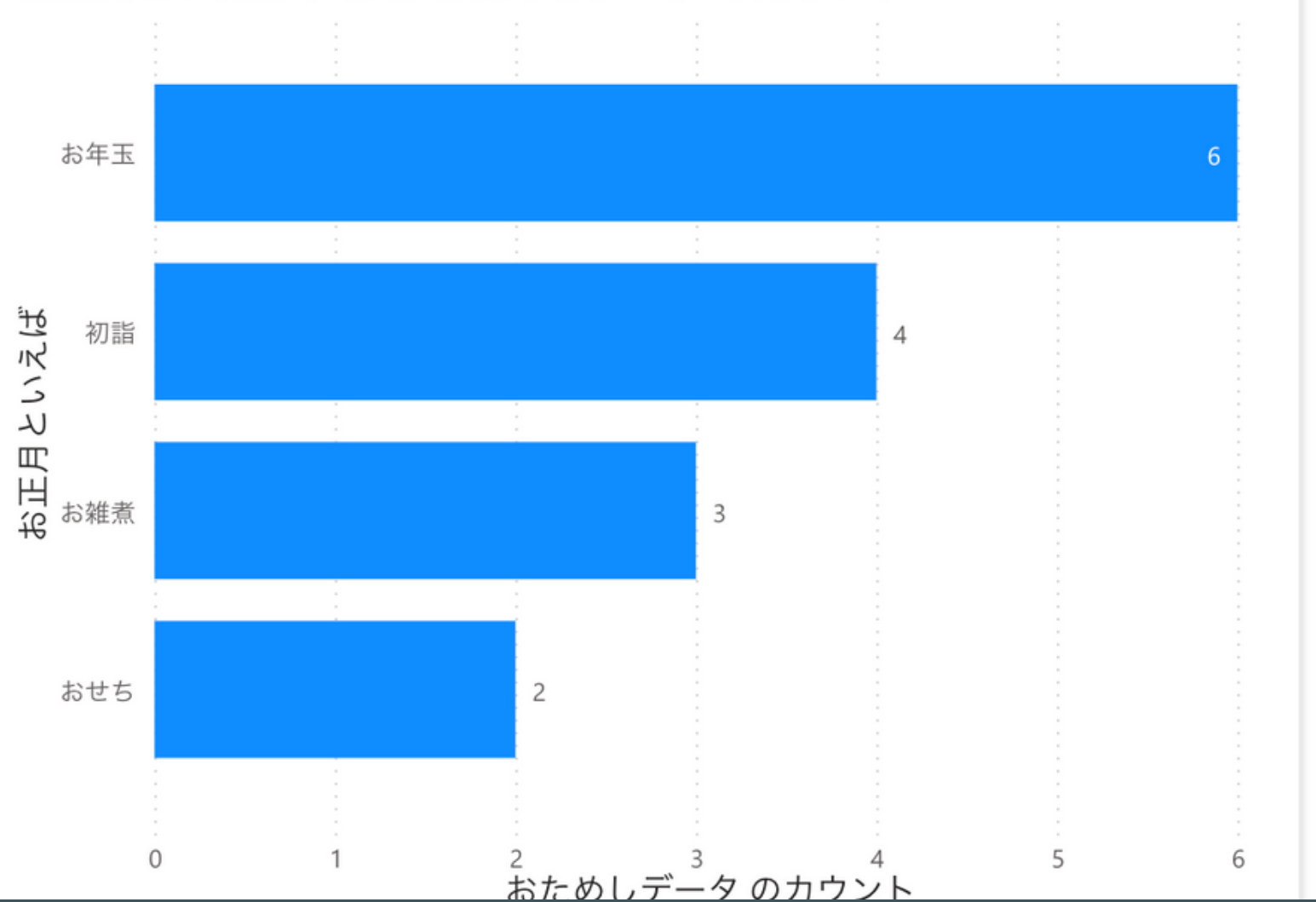
~Infographic Designer編~



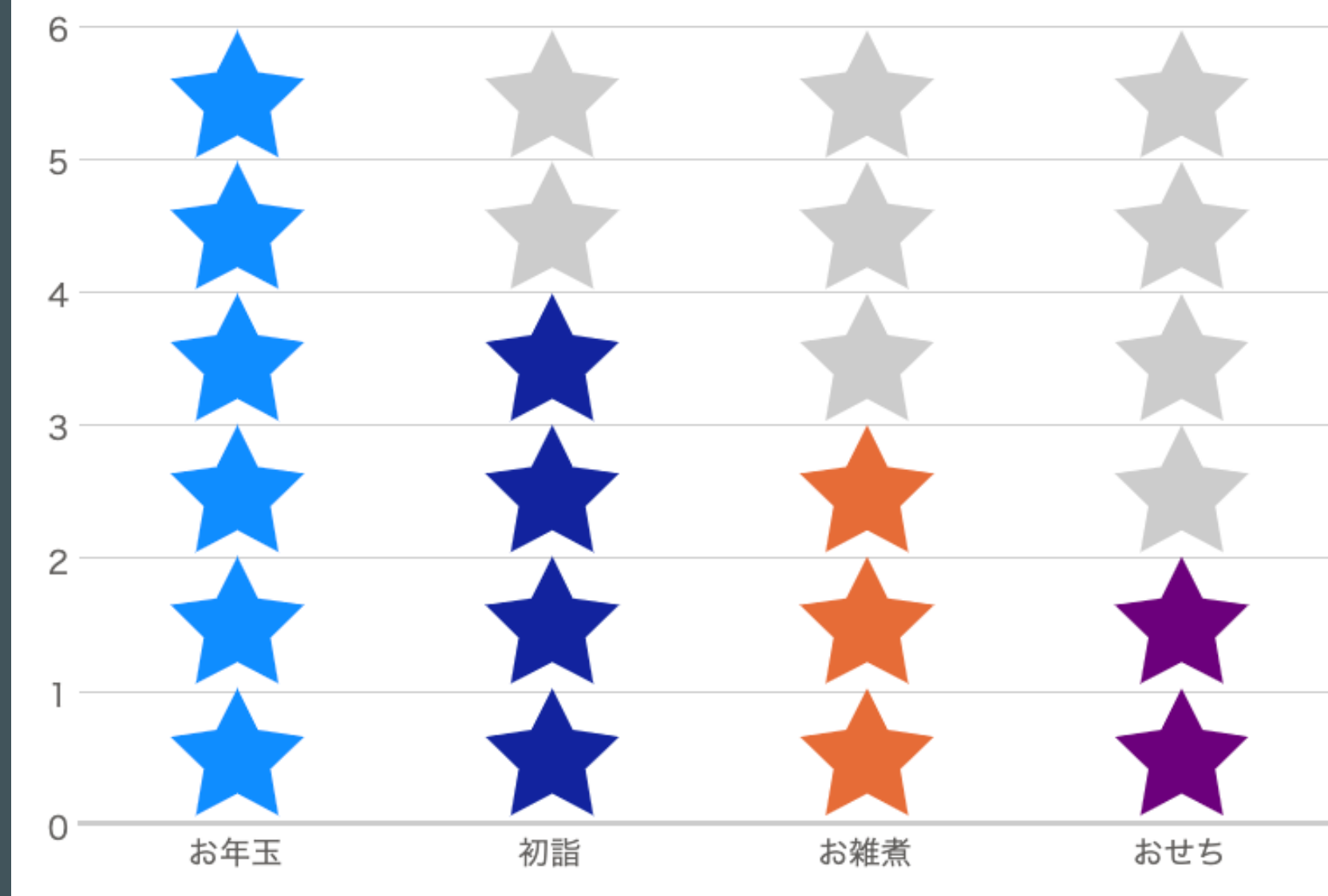
可愛いアレンジにしよう



お正月といえはによる おためしデータ のカウント



お正月といえは

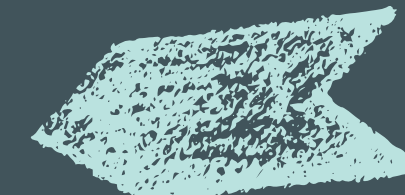


自動でレポートも作ってくれますが、
Infographic Designerを使うととっても
可愛いレポートにすることができます。





可愛いアレンジにしよう



Power Query [Close]

データの入力

データをコピーしてテーブルに貼り付けるか、データを手で入力します。データ型が各列の値と一致していることを確認してください。 [詳細情報](#)

1行目をヘッダーとして使用 | v

	ABC 123 ID	ABC 123 お正月といえば	ABC 123 好きなジュースは？	ABC 123 好きなフルーツは？	+
1	1	お雑煮	コーラ	いちご	
2	2	お年玉	オレンジ	バナナ	
3	3	お年玉	リンゴ	メロン	
4	4	お年玉	カルピス	キウイ	
5	5	お雑煮	カルピス	いちご	
6	6	おせち	コーラ	いちご	
7	7	おせち	コーラ	いちご	
8	8	初詣	リンゴ	いちご	
9	9	初詣	リンゴ	バナナ	
10	10	初詣	リンゴ	バナナ	
11	11	お年玉	カルピス	メロン	
12	12	お年玉	コーラ	キウイ	
13	13	お年玉	コーラ	いちご	
14	14	お雑煮	コーラ	いちご	
15	15	初詣	コーラ	バナナ	

名前

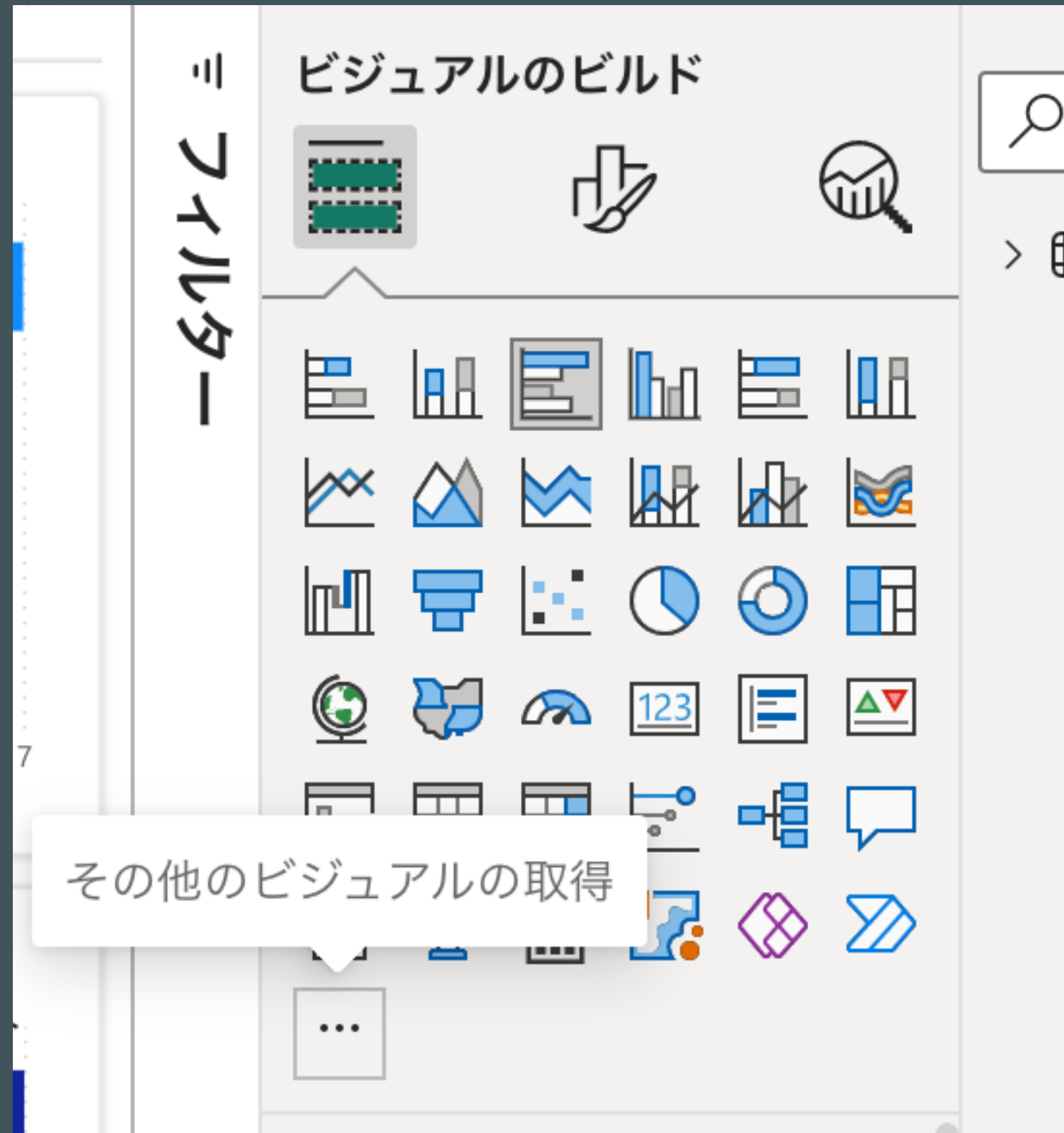
| v

今回のデモデータは
このようなデータを使っています。

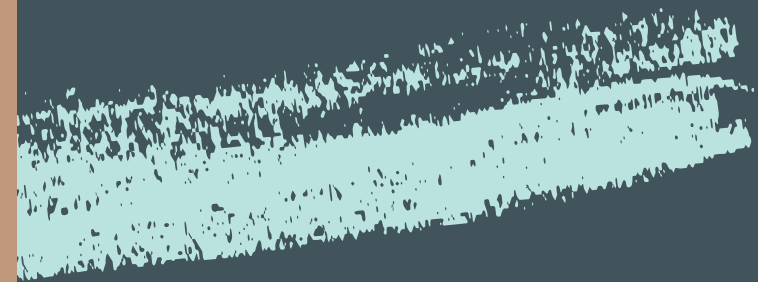
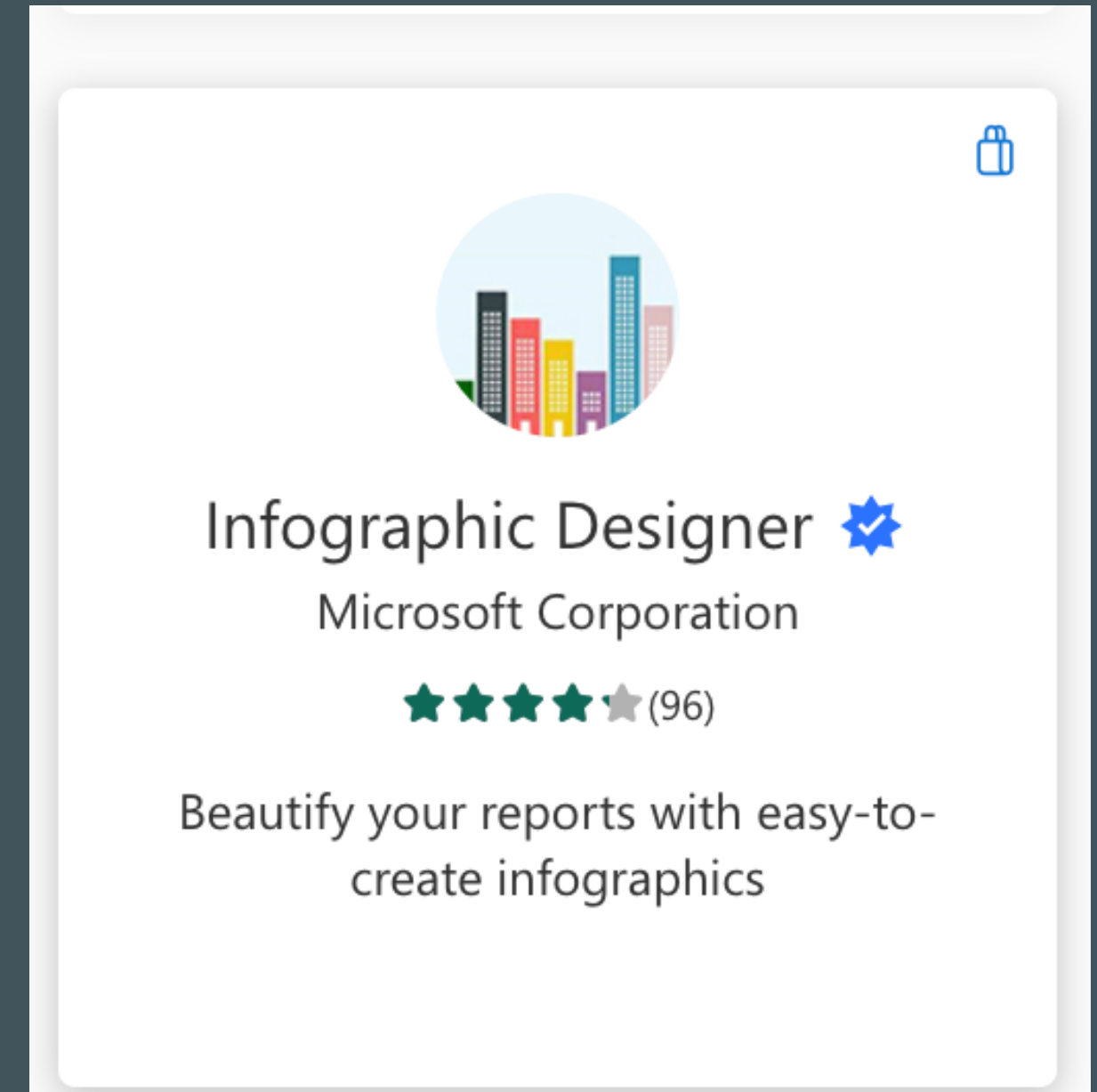




デザインを追加する



デフォルトでは入っていないので、デザインを追加します。



デザインを追加する



Infographic Designer

Microsoft Corporation

★★★★★ 4.2 (96)

PBI Certified

概要 [評価とレビュー](#)

Beautify your reports with easy-

Are you looking to tell a story with your data topic? The infographic designer custom visual lets you control the specific app layout so that you can represent information shapes and images that can be bound to data tailored visuals. The infographic designer cus data into information. Within the edit exper represent bars and columns, add additional

追加する

サンプルのダウンロード

[サンプルの手順](#)

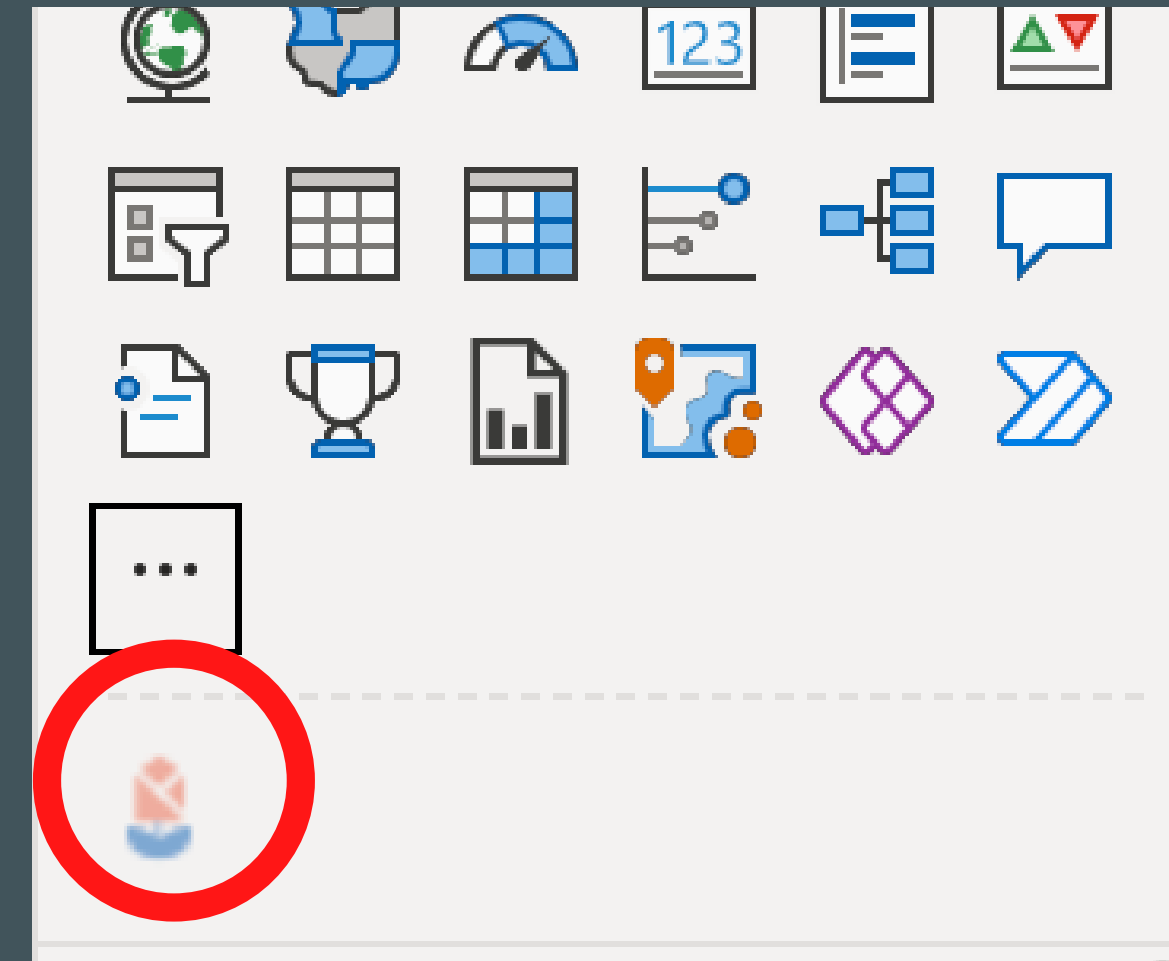
価格

無料

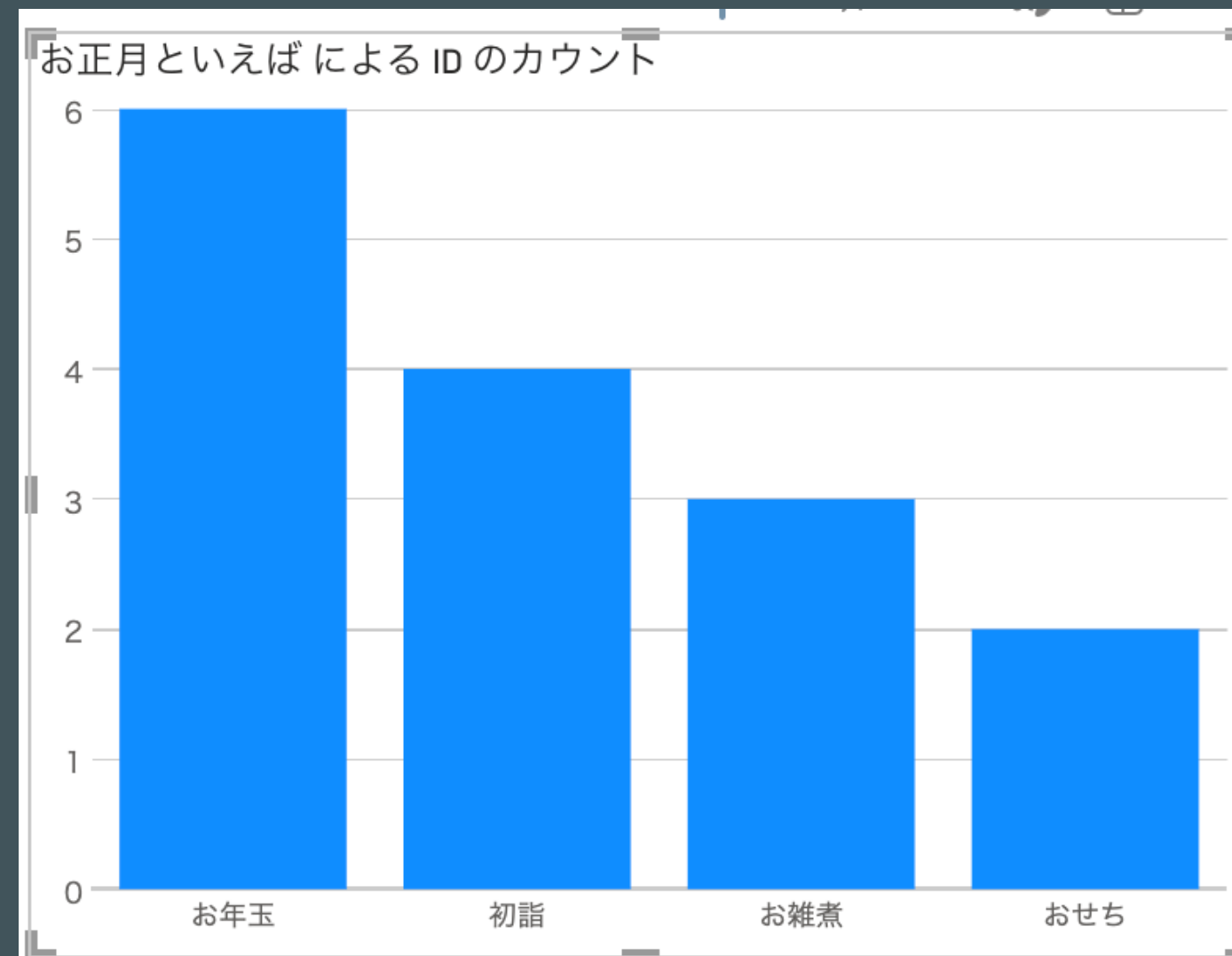
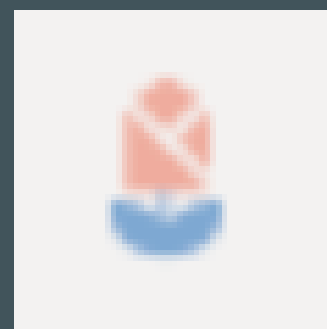
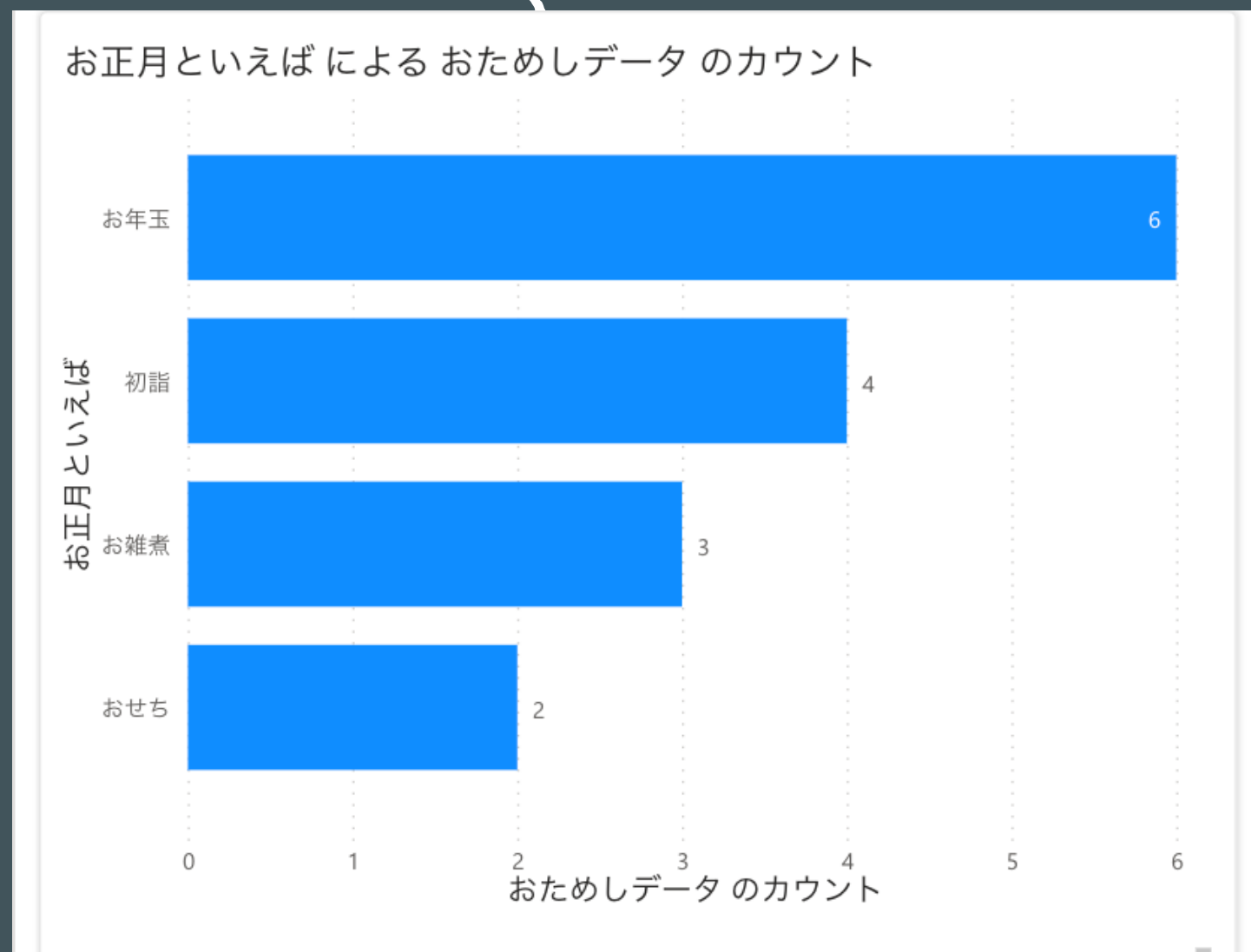
製品



追加を押すと、デザイン
が追加されました。

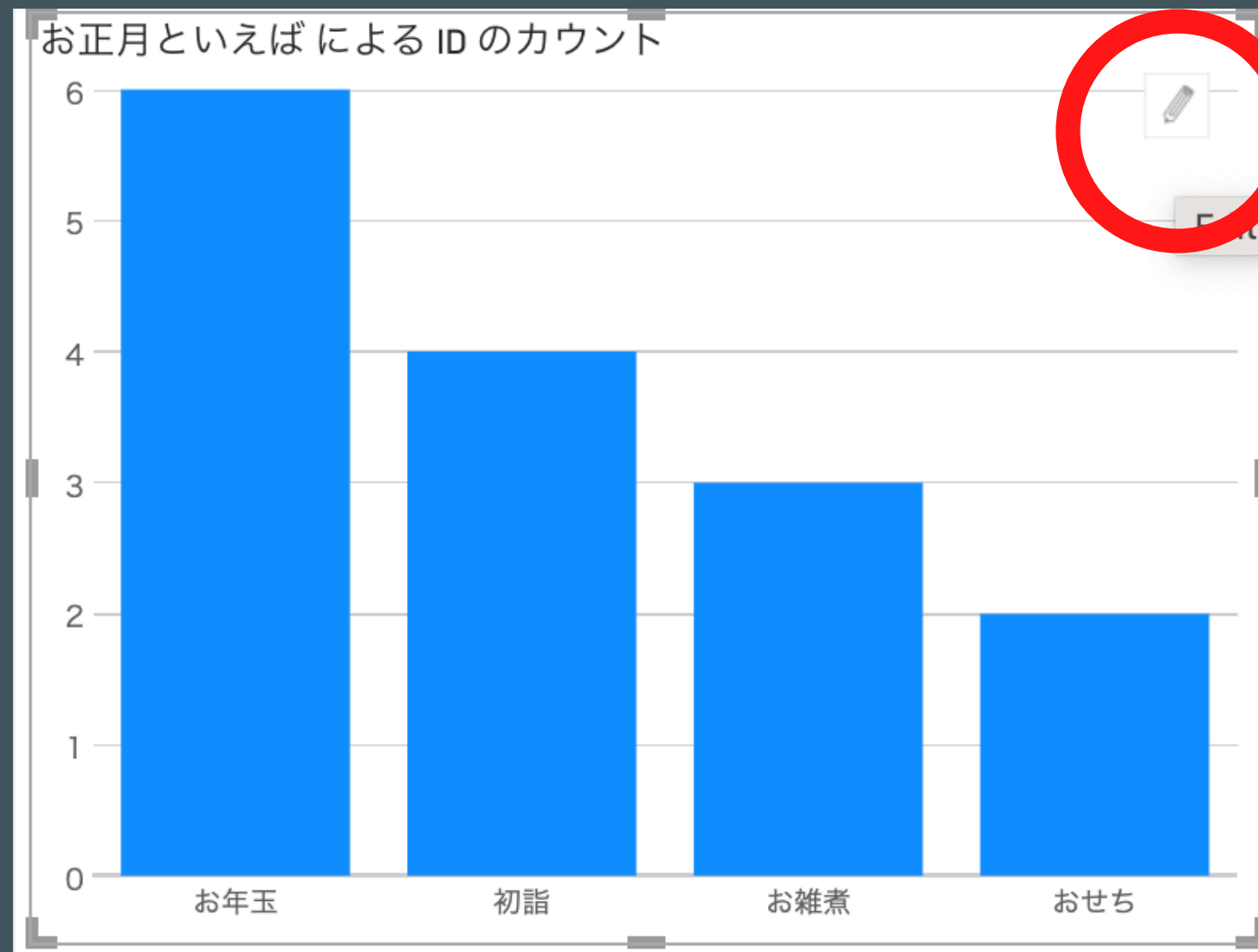


デザインを変更する



変えたいグラフを選択して、Infographic Designerを選びます。
そうすると、ひとまず棒グラフに変換されます。

デザインを変更する



Mark Designer

shape01

Format Layout

Shape

Path Data

Multiple Units Off

Fill Percentage **none**

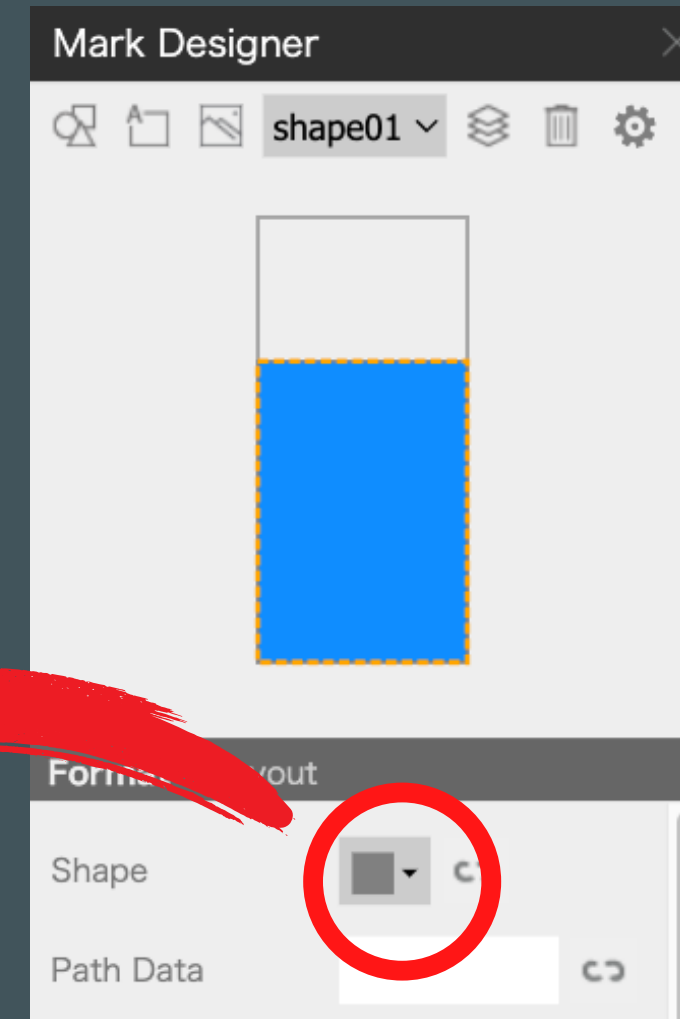
Value Color Off

Unit Background Off

Keep Ratio Off

グラフ内の編集ボタンを押して、Mark Designerを起動します。

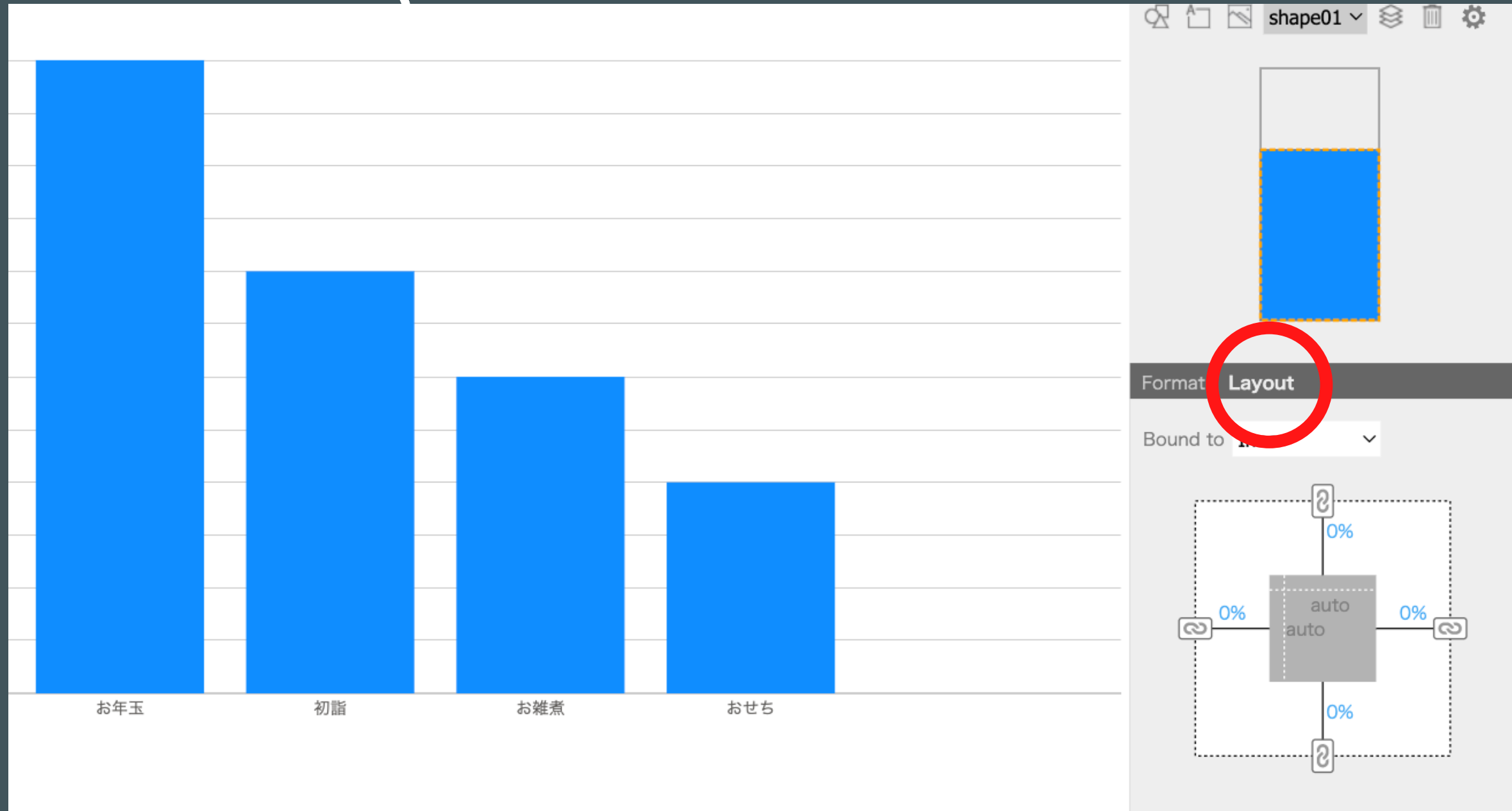
形を変更する



Shapeを変更するといろんな形にすることができます。
今回は星にしましたが、他にも色々形はあります。
好きなイラストをアップロードも可能です



レイアウトを変更する

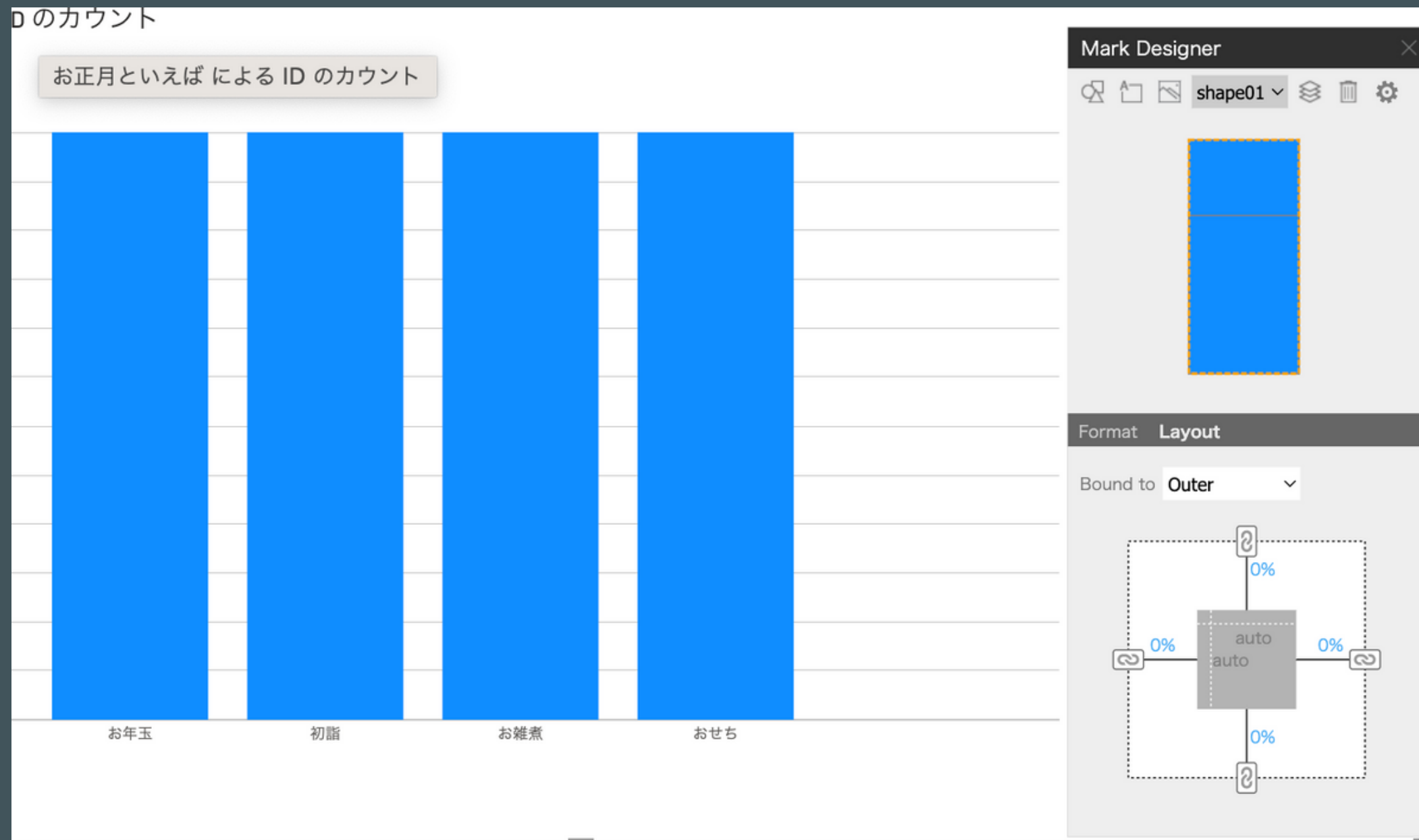


Layoutでは、数値をどのように表示するのかわることができます。Innerは多いもの順に長さが変わります。



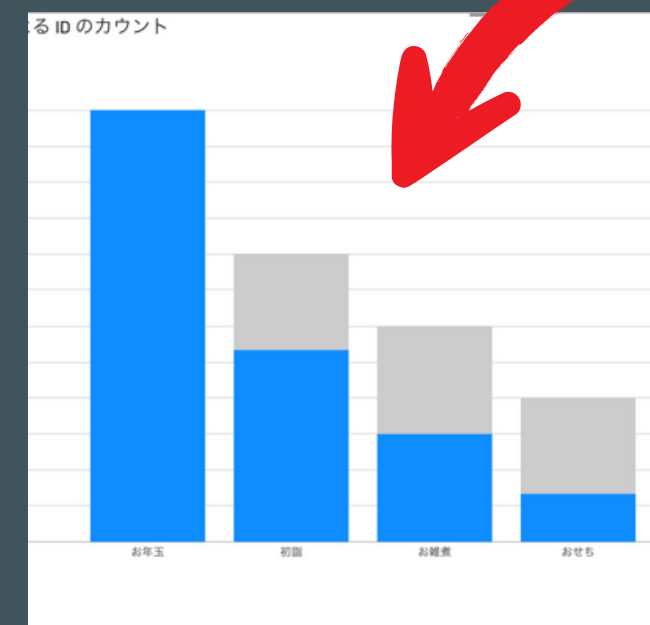


レイアウトを変更する



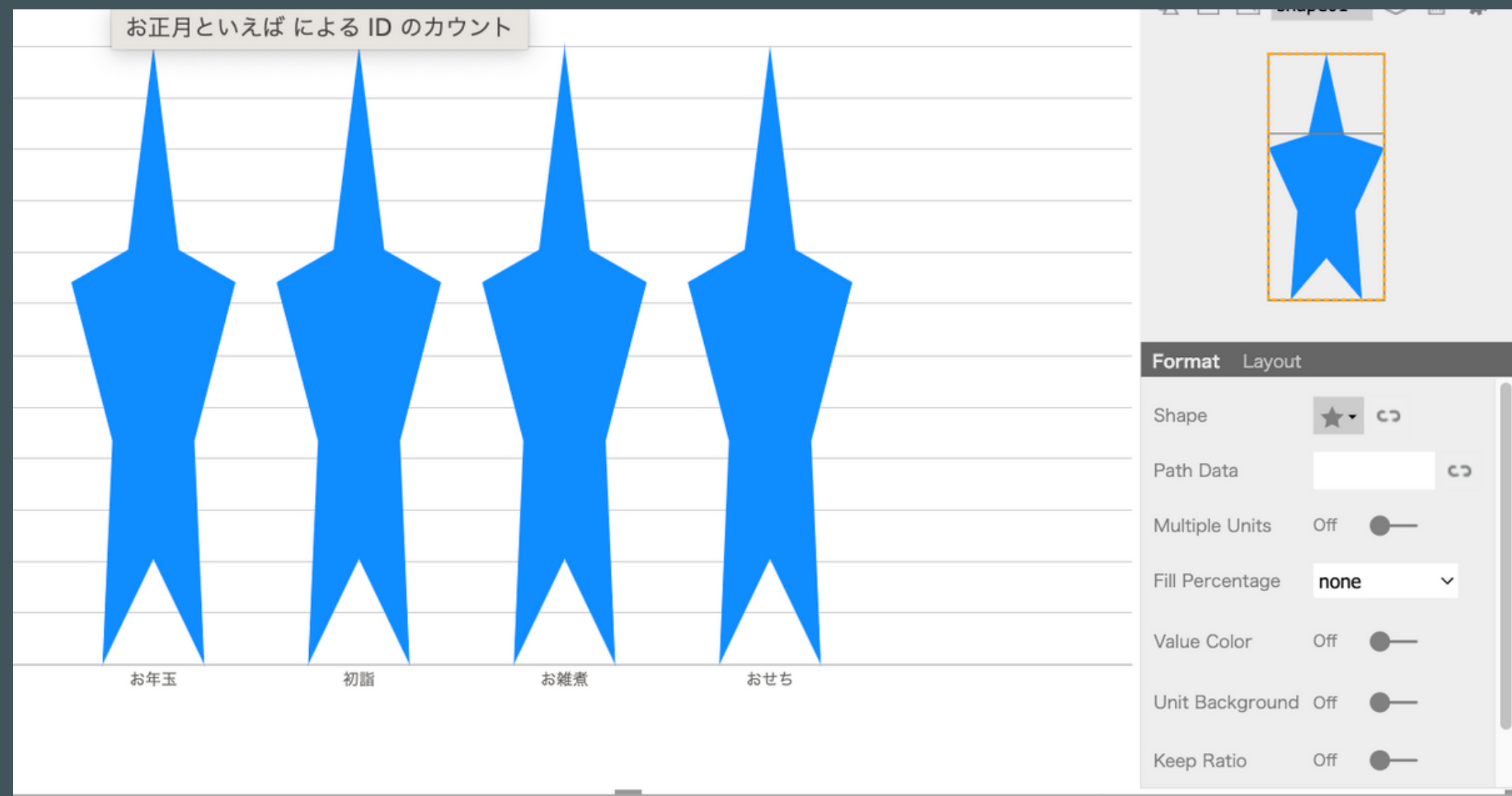
outerは、全体の長さは同じになります。数値を割合で見たい場合はこちらにしておくほうがわかりやすくなります。

Innerのまま、割合表示にすると、見にくくなります。





数でわかりやすく



まず、先ほどのようにRayoutを「Outer」にして、形を好きな形に変えます。今回は星型にしました。その後、Multiple UnitsをONに変えます。



数でわかりやすく



のカウント

★ ★	★ ★	★ ★	★ ★
★ ★	★ ★	★ ★	★ ★
★ ★	★ ★	★ ★	★ ★
★ ★	★ ★	★ ★	★ ★
★ ★	★ ★	★ ★	★ ★
★ ★	★ ★	★ ★	★ ★
★ ★	★ ★	★ ★	★ ★
★ ★	★ ★	★ ★	★ ★

お年玉 初詣 お雑煮 おせち

Mark Designer

shape01

Format Layout

Shape ★ ↺

Path Data ↺

Multiple Units On —●—

Unit Count by Row and Colu ▾

Row Count Auto —●—

Units Per Row Custom —●—

2

自動でも変わってくれるのですが、Row Count (行数) や Units Per Row (行あたりの数) を変更することで、数を変えることができます。



数でわかりやすく



のカウン



Mark Designer

shape01

Format Layout

Multiple Units On

Unit Count by Row and Colu

Row Count Custom

6

Units Per Row Auto

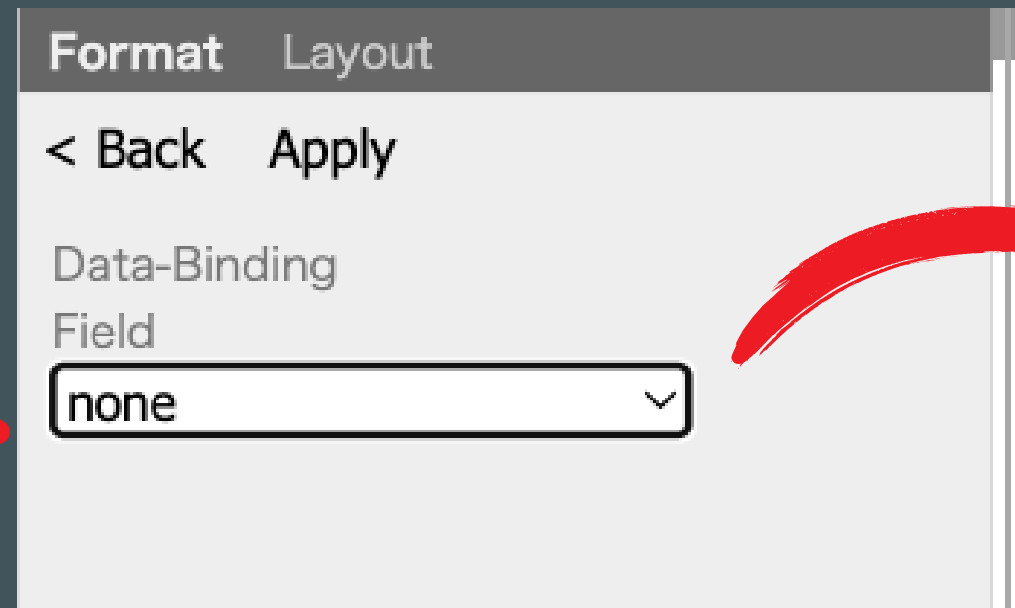
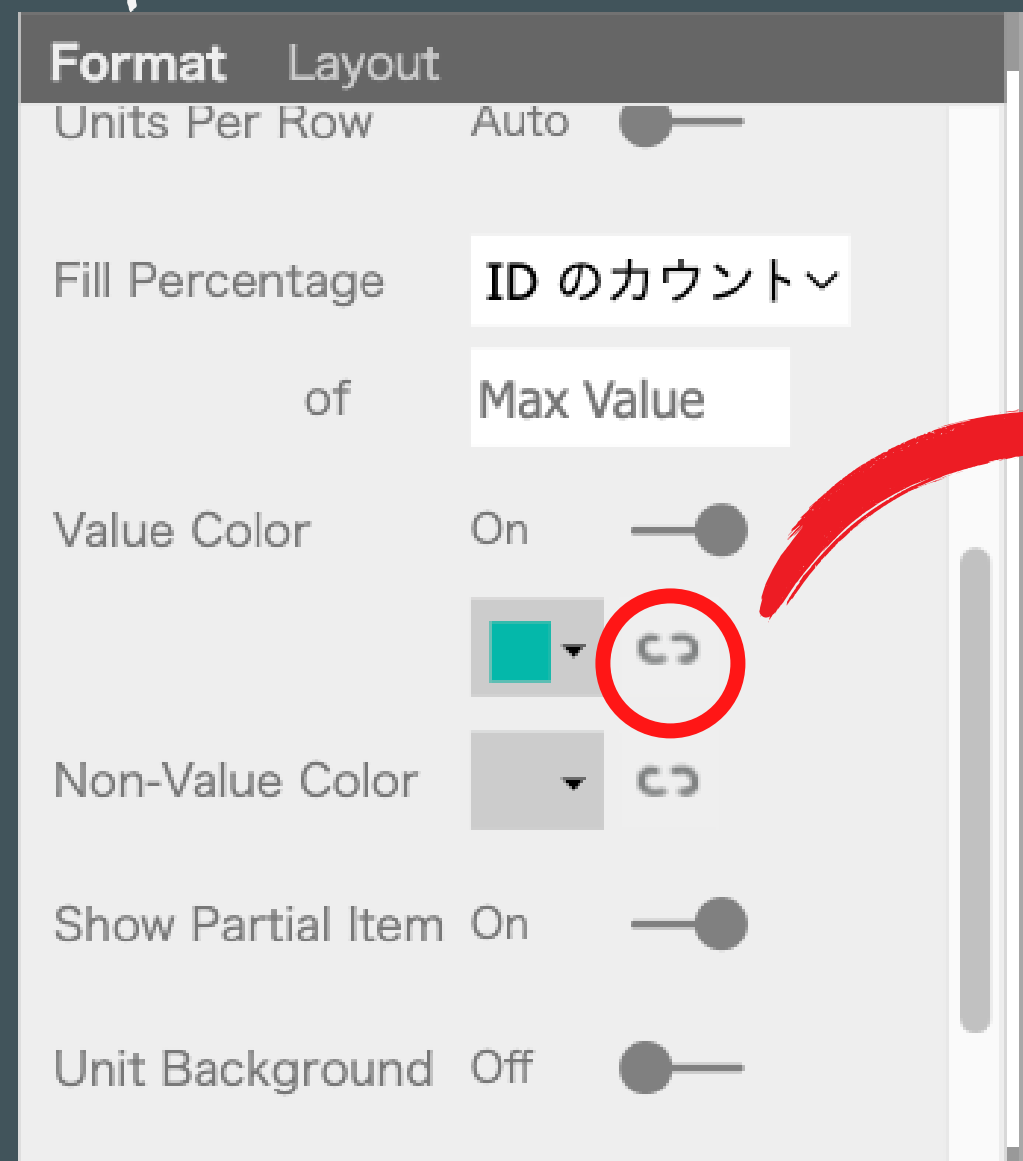
Fill Percentage ID のカウント

of Max Value

Value Color Off

その後に、Fill Percentage (充填率) をNoneから数をカウントしているものに変えてあげると、数分だけ色が変わってくれます。

色でわかりやすく



項目ごとに色を変えたい場合、Value Color をONにします。
Fieldを変更すると、項目ごとに色が変えられるようになります。

色でわかりやすく



Mark Designer

shape01

Format Layout

of Max Value

Value Color On

Non-Value Color

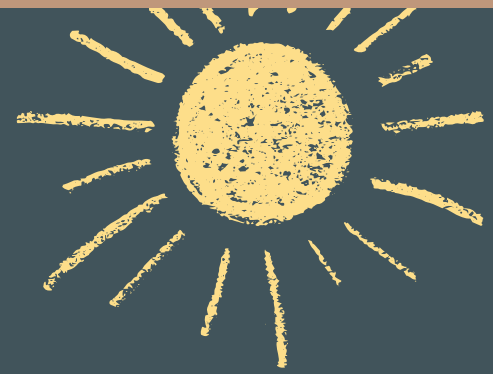
Show Partial Item On

Unit Background Off

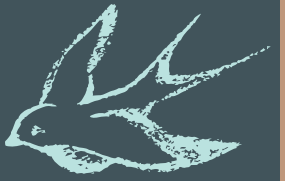
Keep Ratio On

Compact Units Off

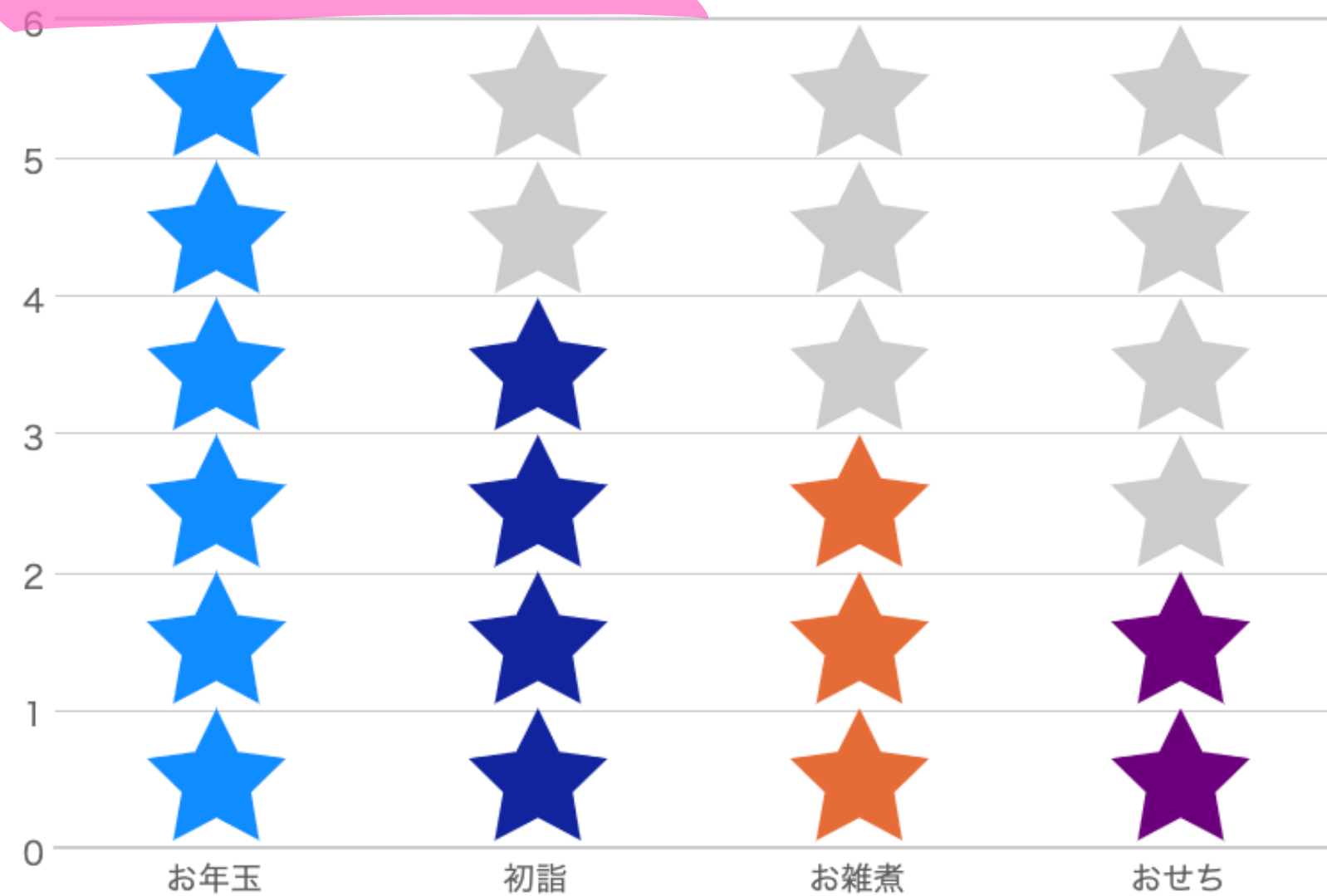
FEELIN'
CUTE



タイトルの変更

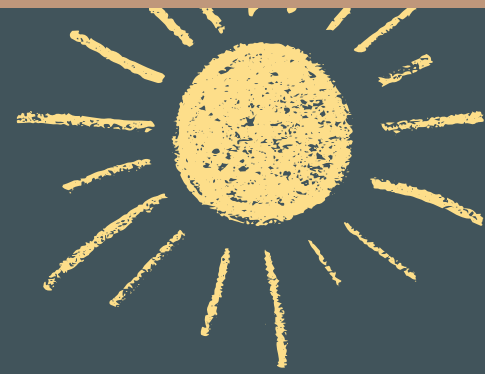


お正月といえばによるIDのカウント

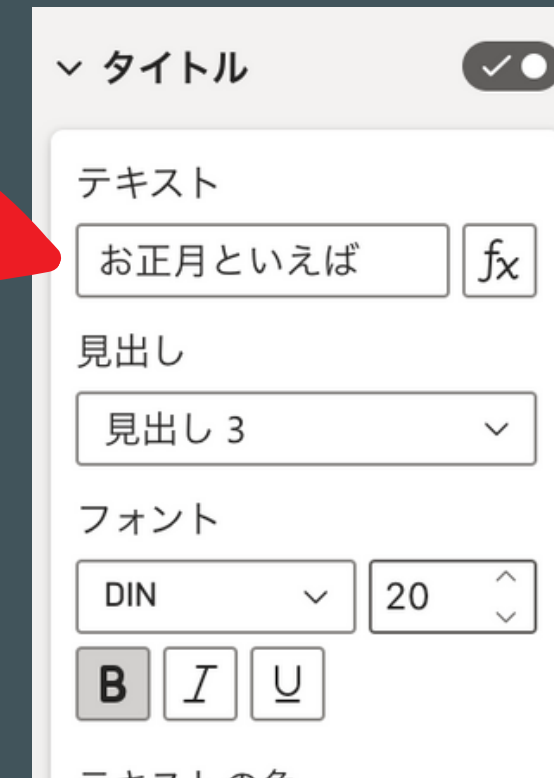
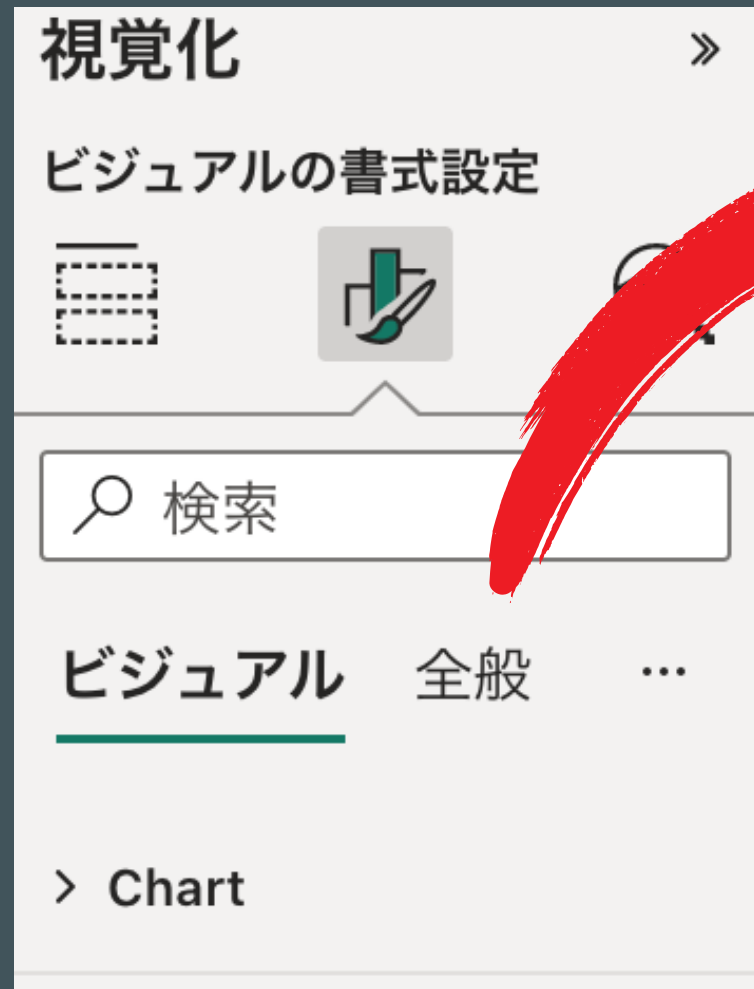


タイトルも自由に変更できます。何もしなければ、データベースの項目がタイトルになります。





タイトルの変更

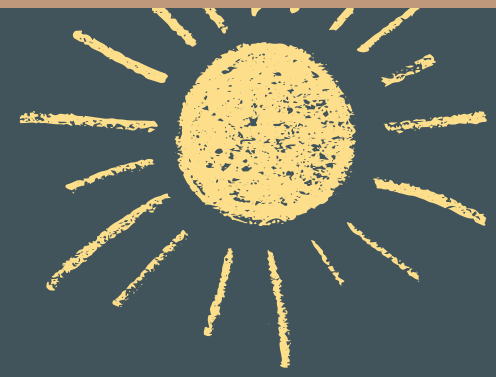


レイアウト変更の横の筆マークをおします。

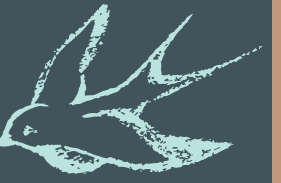
全般から、タイトルを選びます。

自動で入力されていたものをわかりやすいタイトルに変更します。





タイトルの変更

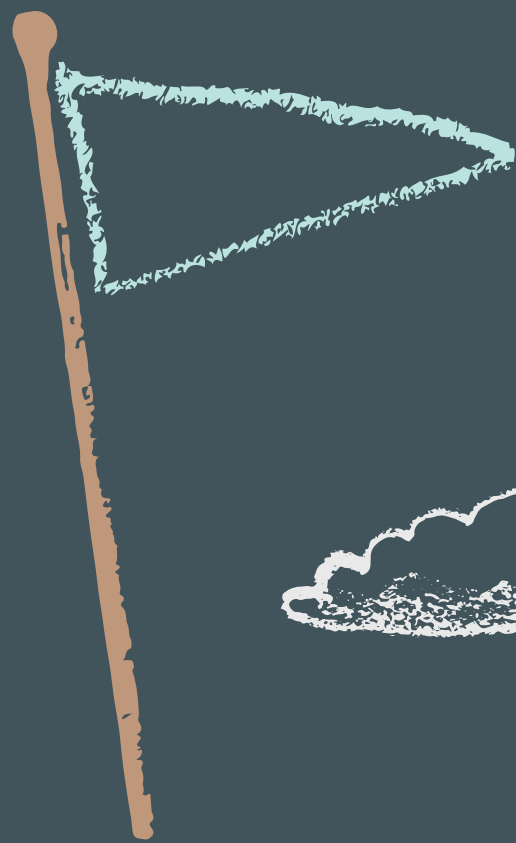


このように見やすく、
わかりやすくなりました！



ビジュアル の変更

その他、項目の文字の色や
フォント、サイズの変更や
余白などの調整も可能です！



ビジュアル 全般 ...

Chart

Type

Column

Min Chart Width

50

Min Chart Height

120

Legend



Legend by Measu...



X-Axis



Y-Axis



Minimum Value as...



Min Y-Value

Max Y-Value

Grid Line



Top Padding

0

Bottom Padding

0

Left Padding

0

Right Padding

0

Axis Text Color



Axis Font Size (%)

14

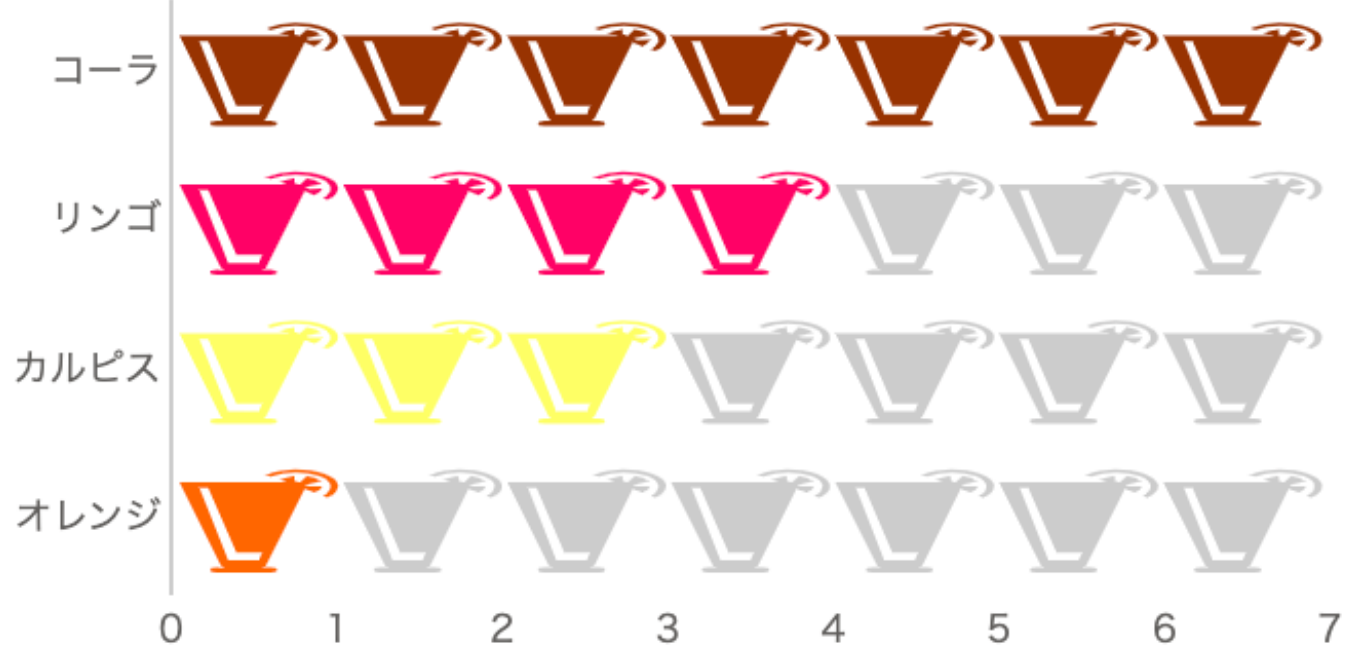
Axis Font Family

Segoe UI Light

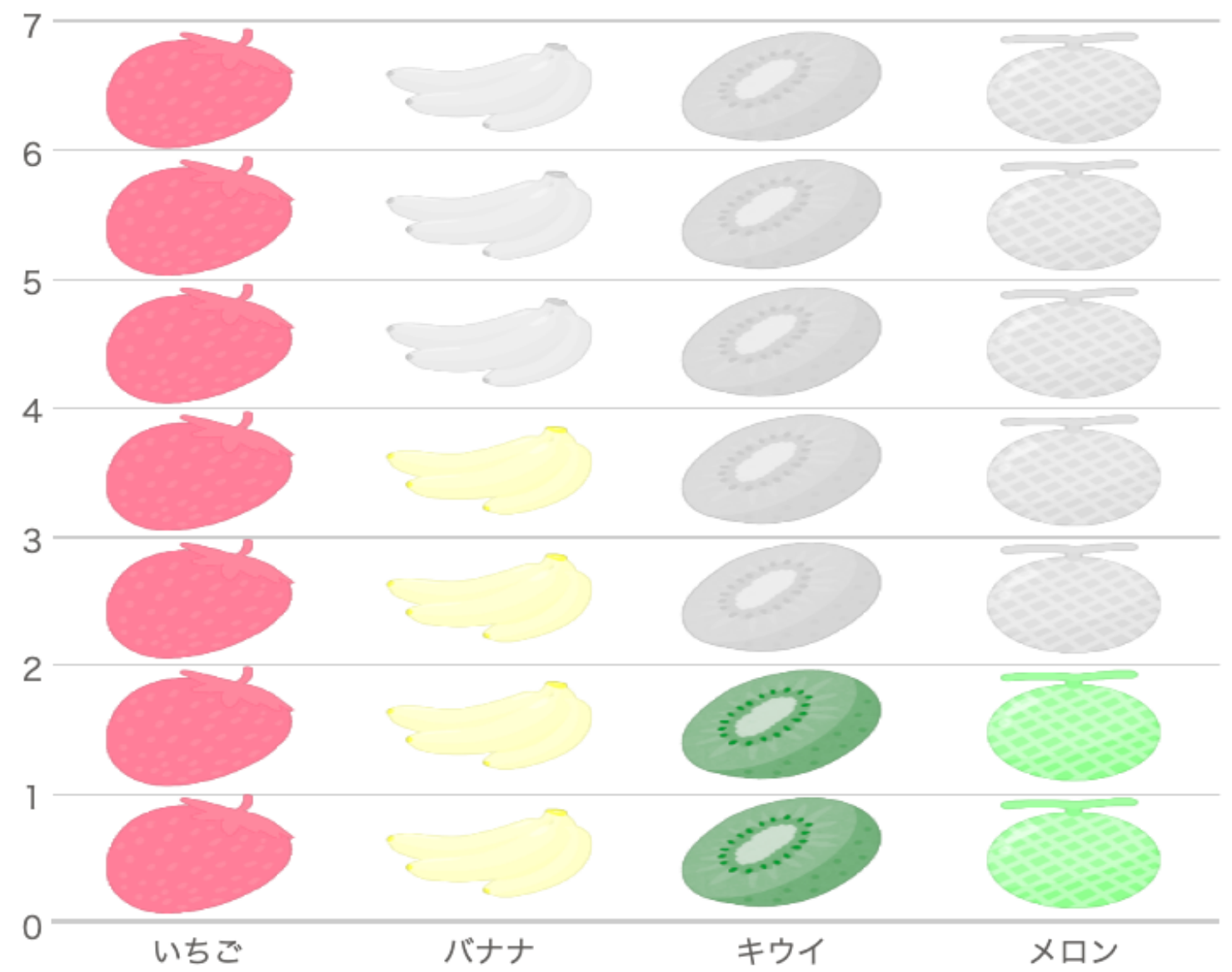
お正月といえは



好きなジュースは？



好きなフルーツは？



**好きなデザインで
見やすくアレンジ可能**



Let's try!

